

## 令和7年度 第3回 大阪市立淀中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立淀中学校

校園長名 吉田 健太

日時	令和8年2月25日 19:00～20:30	
場所	大阪市立淀中学校 校長室	
出席者	委員 など	高橋 和行 (会長) 吉野 千絵子 (委員) 白石 正憲 (委員) 古谷 史恵 (委員) 鴻上 圭太 (委員) 瓦谷 道 (委員)
	校園	吉田 健太 (校長) 吉中 いづみ (教頭)
	区役所	鳩野 めぐみ (担当係長)
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運営に関する計画 最終評価について</li> <li>2. 学校評価アンケートの結果</li> <li>3. 次年度学校運営についての意見交換</li> </ol>	
協議 要旨	協議の結果	
	議題	<p>・まずは学校長より運営に関する計画の総括について説明があり、委員の方に資料を確認していただいた。今年度の本校の取組や達成状況について意見交換をしつつ協議員の方々の理解を得た。</p>
	意見の概要	
		<p>・安全・安心な教育の推進について今年度、淀中学校においていじめの状況・内容はどのようなものであったのか。 →内容としては、“いやなことを言われた”や“SNSで嫌な発信をされた”ということが年間を通して発生していた。 →謝罪の場면을撮影され、SNSで拡散されたということがあったが、互いに拡散していたということもあり、今後関わらないという形で解決した。</p> <p>・未来を切り拓く学力・体力の向上についてアンケートの回答と実際の学力についての乖離があるようにも感じるが現状どのように捉えているのか。 →子どもたちの肯定的回答は多いものの、本校は重点支援校に指定されており、低学力層が多い状況である。原因としては、先生に対して好意的な子どもが多いと捉えている。しかしながら授業改善は必要であると感じているので、今後、校内研修を充実させていきたい。</p> <p>・学びを支える教育環境の充実については、会計年度任用職員の雇用については、どのように工夫されているのか。 →インターンシップや教育実習などで本校に来た大学生のつながりで学生の雇</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートの結果について資料を見ていただき、気になる項目を確認した。</li> <li>・学校運営について意見交換をし、引き続き地域・家庭・学校が連携して協力していくという意見でまとまった。</li> </ul>	<p>用もあれば、区内に住む大人の雇用もあり、本校は充実している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生が学力的にしんどい状況なのか→数値的に見ればそうだが、2年生も学力ではしんどい状況であると思われる。</li> <li>・教員に対して、相談しやすい環境が整っているようで安心した。</li> <li>・子どもたちの肯定的回答は多いが、これを実際に学力に結び付ける授業改善をしていく必要がある。</li> <li>・家庭での読書習慣の欠如（ゲームへの偏り）を危惧しており、幼少期からの習慣づけが重要である。</li> <li>・SNS 普及下での読書指導の難しさや、学校に対する過去の風評と現状の満足度について言及。</li> <li>・スマホの過度な利用が脳に与える影響を懸念し、夜間の利用制限など家庭でのルール作りの啓発を提案。</li> <li>・家庭学習時間の不足を課題として指摘。生徒の活動の場である部活動について、縮小・廃止せず継続してほしい。</li> <li>・デジタル化・端末普及の弊害として、対面での会話や親子のコミュニケーションが減少していることを危惧している。ネット上の交流への不安を指摘し、改めて対人コミュニケーション能力を磨く訓練が必要である。</li> </ul>
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回 学校協議会 資料</li> <li>・学校評価アンケート（後期）結果</li> <li>・令和7年度 運営に関する計画（最終評価）</li> </ul>	
備考		